

57・この頃気になること…

原町幼稚園園長 鶴谷主一（静岡県沼津市）

「幼稚園の現場から」というタイトルなので、できるだけ「現場の具体的なこと」を心掛けて書いていますが、最近気になることが多くて、今回は心の内を吐露するだけに終わってしまいますが、最近幼稚園で感じていることをレポートします。

■子どもの発達のこと

いちばん気になるのが、最近の子どもたちの発達です。幼稚園なので、早くて満3歳からの入園となるので、2歳頃から入園の相談を受けて、受け付けていくのですが、いままで出会ったことのない様子の子どもたちに出会います。

おもな気になる点は、『食事、排泄、ことばの遅れ』。基本中の基本ですが「いったい、いままでどうやって育てられてきたの？」と疑問符のつく子どもたちの数が、数年前では考えられないくらい増えてきているように思います。園の職員が集まって雑談しているときに、この頃気になることについて話してもらいました。

■食事について

白米（ごはん）しか食べられません。
逆に白米（ごはん）が食べられません。口に入ると涙目になって吐き出しそうです。でも海苔が巻いてあったり、味がついていれば食べられます。

揚げ物しか食べたことがありません。

野菜全般がダメです。繊維が口の中に残るのが嫌みたいです。

水が飲めません。ジュースやスポーツドリンクなら飲めます。

逆に水しか飲めません。

お菓子のおにぎりせんべいが噛みきれません。細かくすれば食べられます。

アンパンマンポテトすら噛みきれません。3歳ですが、離乳食程度の固さのものしか食べられません。

全般に固いものが苦手、汁物が苦手です。そういう子は一様に顎がほっそりしています。

スプーンもフォークも使えません、手づかみでしか食べられません。

コップ、ましてや水筒から飲むことができずに、不器用でこぼしてしまいます。口の形をどうすれば飲めるのかわからないので、下唇を引っ張ってあげたりして練習しています。

自分で靴を履けません、履こうという意欲も見られません。どう力を入れたらよいのかわからないのです。

トイレの洗面所の蛇口をひねれません。指を差し出して待っています。お家ではセンサー付きの蛇口なのでしょうか？

ポンプ式の泡ソープのプッシュも自分でできません。力が入りません。

■排泄について

満3歳で入園してくるほとんど9割の子どもたちは、おしめ着用です。

おしめが取れている子どもは滅多におらず昨年一人居て皆が感心したものです。

「トイレでしたことがないんです」という声は珍しくなく、園でトイレに行かせるのに多少苦労しますが、保育者の誘導によって、早ければ初日からトイレに行くことができます。便器に座っても出ない子どもも一定数いますが、そんな子はおしめじゃないと排泄できないパターンになってしまっています。

それでも、幼稚園で練習して年少までにはほとんどの子どもがトイレでできるようになります。…が家庭ではおしめを着用したり、年長になっても就寝中おしめ着用は3割はいます。

「7月のお泊まり保育ではおしめをつけて寝かしません！」と宣言しているので、そこまで

にはなんとか取って！と努力してもらおうことにしています。

「幼稚園に入園するまでにおしめは取らなきゃね！」という話は20年以上前から消滅しています。こんな話を知っている人も今や祖母世代でしょうか。

■ことばの出ない子どもが増えましたねー

「あ」しか発音できない子もいました。こちらの言っている意味はある程度理解できるのですが、自分の意志を伝える手段は「あ」のバリエーションでやってきます。滑舌も悪いです。

まず入園前に、ことばが通じるか保育者が遊びながら話しかけたりするんですが、会話ができるとホッとします。きちんとキャッチボールができていなくても子どもなりの会話でよいのです、それができる子どもが少なくなっている気がします。

逆に、小学生が使うような言葉で言葉遣いが悪かったり、YouTubeで流行っているような言い回しでペラペラ喋る子どももいます。一般的に文字・数字はよく知っていて、読みには強い子も多く、アルファベットを読める子も以前より多いです。

* * * * *

園の8割の子どもたちはすくすくと順調に育っていますが、気になる2割の子どもたちの割合が今後増えていきそうな勢いに、不安が広がっていきます。

コロナ・マスク生活で子どもの発達に阻害されたこともあるでしょうし、ICTの発達で生活様式が変わってきたこと、便利なものが増えたこと、価値観の多様化、新しい育児情報がブームのように広がったりすることなどいろんな要素がからまって現代の子どもたちの発達が気になる状態になってきているんだと思います。

あくまでも私見ですが「子育てのアウトソーシング」と「子どものペット化」が進んでいるような気がしてなりません。その中で子どもたちの「様々な生活の経験」が圧倒的に少なくなっており、画一的な経験しかしていないので発達そびれみたいなことになっている。いまだきの親が怠けているとは思いません。ながねん人類が積み上げてきた正しい子どもの発達の知識が新しい親たちに届かず、愛情のエネルギーが違う方向に向いてしまっているのではないかと気になっています。

「どう遊んだらよいか分からない」という声も最近耳にします。育児の方法が伝えられていないことも一因かなと思います。

気になる子どもたちも、保育者が適切に根気よく子どもと相対して保育を進めていくと「もっと早く入園できていればなあ…」というぐらゐるみる発達する子どもも何人もいます。子どもはポテンシャルを持っているんですが、やらせない。やってあげてしまうことで発揮できなくなっているのですね。それに気づき開放してあげるのが私たちの仕事でもあるんですが…。(^_^;)ガンバロ！

■あそび

子どもたちのあそびの最近の傾向として、遊びが単一で稚拙。遊びの工夫がなく広がらない。戦い関係の遊び、武器を作る遊びが多いという話が出ました。

家での遊びを聞いてみると、スイッチでゲームをしている子どもの話が活発で、特に男の子は圧倒的に多いです。

家庭訪問で発覚したのですが、すでに四六時中スイッチやスマホのゲームから離れられず、止めさせようとするとき声を上げたりひっくり返ったりして暴れるので、親も手をこまねいているゲーム依存症の予備軍になっている子どもが2名おりました。年長の1人は家でのゲーム時間を制限するための取り組みを担当と始めました。

■保護者（お母さん）の傾向

として感じていることは、

子どものペースに合わせる親が多い気がします。子どもに「どうする？」と聞いているんなことを決めさせるかんじです。

自分の子どもを叱らない、お友だちにも謝らせない。

究極の話は、公園で出会った乳児の母子に「男の子さんですか？」と尋ねたところ「性別は子どもが決めますので」と言われて驚いたという話があります。（実話です）

「幼稚園の現場から」ラインナップ

- | | | | |
|------|----------------------------|------|---|
| 第1号 | エピソード (2010.06) | 第31号 | 幼稚園の音楽教育
(その2・こどものうた) 2017.12 |
| 第2号 | 園児募集の時期 (2010.10) | 第32号 | 幼稚園の音楽教育
(その3・コード奏法) 2018.03 |
| 第3号 | 幼保一体化 (2010.12) | 第33号 | (休載) |
| 第4号 | 障害児の入園について (2011.03) | 第34号 | 働き方改革・一つの指針 (2018.09) |
| 第5号 | 幼稚園の求活 (2011.06) | 第35号 | 働き方改革って難しい (2018.12) |
| 第6号 | 幼稚園の夏休み (2011.09) | 第36号 | 満3歳児保育について (2019.03) |
| 第7号 | 怪我の対応 (2011.12) | 第37号 | 満3歳児保育・その2 (2019.06) |
| 第8号 | どうする保護者会? (2012.03) | 第38号 | プールができなくなる!? (2019.09) |
| 第9号 | おやこんぼ (2012.06) | 第39号 | 跳び箱 (2019.12) |
| 第10号 | これは、いじめ? (2012.09) | 第40号 | 幼稚園にある便利な道具〈紙を切る〉
(2020.03) |
| 第11号 | イブニング保育 (2012.12) | 第41号 | コロナ休園 (2020.06) |
| 第12号 | ことばのカリキュラム (2013.03) | 第42号 | コロナ休園から再開へ (2020.09) |
| 第13号 | 日除けの作り方 (2013.06) | 第43号 | ティーチャーチェンジ (2020.12) |
| 第14号 | 避難訓練 (2013.09) | 第44号 | 除菌あれこれやってみた (2021.03) |
| 第15号 | 子ども子育て支援新制度を考える | 第45号 | マスクと表情 (2021.06) |
| 第16号 | 教育実習について (2014.03) | 第46号 | 感染予防と情報発信 (2021.09) |
| 第17号 | 自由参観 (2014.06) | 第47号 | 親子ソーラン節 (2021.12) |
| 第18号 | 保護者アナログゲーム大会 (2014.09) | 第48号 | 親子コンサート (2022.03) |
| 第19号 | こんな誕生会はいかが? (2014.12) | 第49号 | うんちでたー! (2022.06) |
| 第20号 | ITと幼児教育 (2015.03) | 第50号 | 子どもが育つ園庭・その1 木登りとブランコ
(2022.09) |
| 第21号 | 楽しく運動能力アップ (2015.06) | 第51号 | 子どもが育つ園庭・その2 砂場 (2022.12) |
| 第22号 | (休載) | 第52号 | 子どもが育つ園庭・その3 ストライダーと
Tonka (2023.03) |
| 第23号 | 大量に焼き芋を焼く (2015.12) 2019 | 第53号 | リスクと安全・園庭編 (2023.06) |
| 第24号 | お話あそび会その1 (発表会の意味) | 第54号 | 夏の音楽会・動画 (2023.09) |
| 第25号 | お話あそび会その2 (取り組み実践) | 第55号 | クリスマス劇・動画 (2023.12) |
| 第26号 | お話あそび会その3 (保護者へ伝える) | 第56号 | こいのぼり製作 (2024.03) |
| 第27号 | おもちゃのかえっこ (2016.12) | 第57号 | この頃、気になること (2024.06) |
| 第28号 | 月刊園便り「はらっば」 (2017.03) | | |
| 第29号 | 石ころギャラリー (2017.06) | | |
| 第30号 | 幼稚園の音楽教育 (その1・発表会) 2017.09 | | |

▶気になる記事・ご感想質問等ありましたら気軽に連絡ください。✉ office@haramachi-ki.ed.jp

